

令和4年度 順天寮事業報告

生活保護受給者で居宅生活をおくることが困難な人が、安心して暮らしながら自立に向けた訓練を行う施設である順天寮では、令和4年度は4つの重点項目を年度当初に掲げて取り組んでまいりました。

- (1) 限られた資源（人・施設・金）の中での最適な支援
 - ① 事業を常に収支ベースで検討する
 - ② 業務の標準化、合理化のために、情報システムの運用開始
 - ③ 改築に向けた調査・研究
- (2) 人材確保・人財育成
 - ① 職員を育成できる環境（育成プログラム）の整備を行う
 - ② 人財確保（エージェントに頼らない人材確保）
- (3) 現状サービスの見直しと改善
 - ① 個別支援の流れ（PDCA 循環）の改善
 - ② 日中活動の見直し
- (4) コロナ対策
 - ① コロナ渦にあっても工夫して楽しい寮生活にする

しかしながら、8月から9月にかけて、非常に感染力の強い新型コロナウイルス感染症オミクロン株の流行に巻き込まれ、利用者38名、職員21名の集団感染となった影響により、当初の重点項目についての取組みが滞る結果となりました。

経営的には、退所者が増加したものの、新規利用者確保に努め、年間では昨年並みの利用率が確保できました。また、国や日本財団等補助金申請を積極的に行い、総額で730万円ほどの採択を受ける事ができ、福祉避難所の整備の一環として、EV車・給電器の購入、施設内のLED化工事等の整備を行いました。

今年度も500万円の施設整備積立金を行ったうえで、1,314万円の当期資金収支差額を計上することができました。

令和5年度は、順天寮スローガン「利用者さんの幸せとは？ 共に考え、共に歩もう！」を掲げ、人材育成、改築、情報システム運用、日中活動プログラムの4つのプロジェクトを重点に、組織・施設の機能強化を図りながら、地域福祉の向上に努めてまいります。